

令和7年度

シラバス

～1年間の学習の流れ～



鈴鹿市立創徳中学校

「シラバス」 Syllabus とは、ギリシャ語に語源を持つ言葉で、「各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法

などを記した総合的な学習計画」のことで、各教科・領域の学習において

- ① 基礎基本の定着と活用能力の育成
- ② 基盤の学力を身に付けるための学習習慣の定着
- ③ 表現力（話す・聞く・書く）の育成

をめざし、1年間の授業の流れを見通して、学習計画を作成しました。

このシラバスには、次のような3つの意義があります。

(1) 生徒の皆さんが、より計画的・主体的に授業に取り組めるよう、1年間の学習の「道しるべ」としての意義

(2) 生徒の皆さんはもちろん、保護者や地域の皆様へ、本校の教育の様子についてお知らせする意義

(3) お知らせした教育の様子をもとに、よりよい教育の実現をめざしてご意見をいただくための基礎的な資料としての意義

中学校の3年間は、人間の一生の中で最も成長著しい時期にあたります。特に、今年度は新学習

指導要領が全面実施され、ChromeBook も一人一台配備され、活用していく初年度となります。新たに学

ぶことが増えたり、大事なことが重点化されていきます。私たち教職員は、この大切な時期に、生徒

の皆さんが、このシラバスをよりどころとして、気持ちを一新して意欲的に学習に取り組んでくれること

を心から期待します。また、本校の教育が保護者や地域の皆様にご理解とご支援をいただきながら、

充実・発展していくことを願っています。

第1学年 国語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「国語1」（光村図書） 「中学書写一二三年」（光村図書） 副教材：「国語の学習」（明治図書） 「くりかえし漢字」（秀学社） 「すらすら基本文法」（浜島書店） 「新・国語の便覧」（正進社）	持ち物	- 教科書 ノート くりかえし漢字 - 書写の道具（必要に応じて） - 副教材（必要に応じて） - Chromebook
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> - 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、言葉の意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。 - 筋道立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしましょう。 <家庭学習では> - 漢字の練習をしましょう。何度も書いて覚え、覚えた漢字を使えるようになりましょう。 - 教科書を繰り返し読み、本文の内容を理解するようにしましょう。 - 予習や復習に「国語の学習」を使いましょう。 - 本や新聞を読む習慣を身につけ、使える言葉を豊かにしましょう。 <定期テストでは> 1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計5回の定期試験を行います。副教材の「くりかえし漢字」や「国語の学習」などで試験範囲を復習しましょう。文法は「すらすら基本文法」で復習しましょう。 「知識・技能」「思考・判断・表現」について、かたよりなく学びましょう。		
学習上の注意	「授業はみんなで創るものです！」 - 姿勢や態度に気をつけて、集中して授業に取り組みましょう。 - 忘れ物がないようにしましょう。 - 提出物の期限は守りましょう。 - 授業のはじめに学習の見通しをもちましょう。 （「何について、どれくらいの時間で、どんな順番で、どんな方法で学習するのか」、 「何ができるようになれば良いか」を確かめましょう。） - 教科書などを読んで、課題解決に必要な情報を集めましょう。集めた情報は内容ごとに整理しましょう。また、自分の思いや考えを書いたり話したりするときは、適切な言葉や表現を用いることを心がけましょう。 - 情報を集めたり、整理したり表現したりするときは、積極的に他の人と意見を共有したり、比べたりしましょう。わからないことや詳しく知りたいことがあれば、積極的に質問しましょう。 3学期に百人一首大会を行います。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	「朝のリレー」 「野原はうたう」 「はじまりの風」 「話の構成を工夫しよう」	中 間
	5	「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 「情報を整理して説明しよう」	
	6	「空の詩 三編」 「比喩で広がる言葉の世界」 「文法への扉 1	
	7	言葉のまとまりを考えよう」 「読書を楽しむ」 「大人になれなかった弟たちに… …」 「書写」	期 末
二 学 期	9	「星の花が降るころに」 「項目を立てて書こう」 「聞き上手になろう」 「漢字の音訓」	中 間
	10	『言葉』を持つ鳥、シジュウカラ」 「根拠を明確にして書こう」	
	11	「文法への扉 2 言葉の関係を考えよう」 「大阿蘇」 「いろは歌」 「蓬萊の玉の枝」	
	12	「今に生きる言葉」 「書写」 「百人一首」	期 末
三 学 期	1	『不便』の価値を見つめ直す」 「話題や展開を捉えて話し合おう」	学 年 末
	2	「少年の日の思い出」 「文法への扉 単語の性質を見つけよう」	
	3	「二十歳になった日」 「構成や描写を工夫して書こう」 「一年間の学びを振り返ろう」	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・中1の漢字の読み書き。 ・辞書的な意味と文脈上の意味に注意しているか。また、語彙は豊かになっているか。 ・文法、音声の働き、表現技法について理解できているか。 ・情報の扱い方、古典や書写などの言語文化について、理解できているか。	漢字テスト 定期テスト 授業の取り組み 書写 暗唱 等
	・目的や場面に応じて話題や材料を整理し伝え合うことができているか。 ・自分の考えや根拠が明確となるように話の構成を考えられているか。 ・自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しているか。 ・話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、考えをまとめられているか。 ・段落を意識して、文章の構成や展開を考えることができているか。 ・根拠を明確にして、伝わりやすくなるように表現を工夫しているか。 ・読み手の立場になって推敲しているか。 ・叙述や描写から内容を理解しているか。 ・構成・展開・表現について根拠を明確にして考えているか。	ワークシート 聞き取りテスト 定期テスト 授業の取り組み 読書感想文 等
主体的に学習に取り組む態度	・国語の学習に積極的に取り組み、思いや考えを確かなものにして、進んで読書に取り組み、生活において言葉を適切に使い生かそうとする姿勢がみられたか。	振り返り ワーク ワークシート 宿題の取り組み 授業の様子

第1学年 社会

学習教材および学習の進め方

使用教材	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会 歴史（東京書籍） 中学校社会科地図(帝国書院) 社会の自主学習 地理1（新学社） 積み上げ 地理1(明治図書) 社会の自主学習 歴史1（新学社） 積み上げ 歴史1(明治図書)	持ち物	【地理】教科書・地図帳 ファイル・ワーク 【歴史】教科書・ワーク ファイル
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> 社会は憶える事柄が非常に多くあります。もちろんその知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会の力はつきません。社会科で大切なのはつながりを考えることです。そのつながりを考える土台として知識が必要になります。最近の入試では資料を読み取ったり、「なぜ」を問うような記述問題が多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。同じ憶えるにしてもつながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが憶えやすいし、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、感想ノートにその疑問を書いたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めよう。 <家庭学習（地理）> 地理でもっとも大事なものは地図です。地理を勉強するときは必ず地図帳を横においてください。わからない地名や国名が出てくれば必ず地図帳で調べます。地理でも授業の進度に合わせてノートに自主学習を進めていきます。はじめは、授業の内容や重要な事柄を説明できるようにまとめましょう。最も重要な事柄だけを抜き出したり、箇条書きでまとめなおしたりと自分なりに工夫をしていきます。そしてノートにはできるだけ自分で簡単な地図を書くようにしましょう。 <家庭学習（歴史）> 歴史では、時代ごとに一番重要なことを抜き出してまとめます。そのときにできるだけ少ない事柄だけにします。その時代がどうやって始まり、どう終わったのか。重要な出来事は何か。プリントを使って学習していきます。 予習では教科書を読んで次の時間の内容のページを読み、重要な言葉などをノートに書きだしましょう。5分でも10分でも読むことで授業での理解度の違いが大きく出ます。次に授業プリントにある復習問題（ワーク）を授業があったその日に解きましょう。わからない問題があった場合は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。		
学習上の注意	予習より復習をメインに家庭学習を行いましょう。社会科の授業は週に3回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、自主学習ノートを書いたり、ワークを何度も解いたりするようにしましょう。 授業では積極的に参加し、友達の発表も参考にして、また自分も積極的に発表しましょう。学び合いの授業をすすめていくので、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にすることで、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一学期	4	地理的分野 1部1章 世界のすがた	中間
	5	1部2章 日本のすがた	
	6	2部1章 人々の生活と環境	
	7	2部2章 世界の諸地域 ①アジア州	期末
二学期	9	②ヨーロッパ州	中間
		③アフリカ州	
	10	④北アメリカ州	
		⑤南アメリカ州	期末
	11	⑥オセアニア州	
	12	歴史的分野 1章 歴史のとらえ方 2章 古代までの日本 ①世界の古代文明と宗教 のおこり ②日本列島の誕生と大陸 との交流	
三学期	1	③古代国家のあゆみと 東アジア世界	学年 末
	2	3章 中世の日本 ①武士の台頭と鎌倉幕府	
	3	②ユーラシアの動きと武 士の政治の展開	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	地理的・歴史的事象の意義や特色，相互の関連を理解し，その知識を身に付けている。	定期テスト ワーク 自主学習ノート
	地理的・歴史的事象から課題を見だし，社会的事象の意義や特色，相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 地理的・歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	定期テスト 発表内容 自主学習ノート
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする	ワーク 発表内容 プレゼン レポート 自主学習ノート

第1学年 数学

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 『未来へひろがる数学1』（啓林館）	持ち物	左記以外に 授業用ノート ファイル 筆記用具 直定規 コンパス（必要に応じて）
学習の進め方	確かな学力を身につけるには 数学の学習を「問題を解く」ことだと思っていないですか。数学でも、ほかの教科と同じように「どうなるのかな？」と予想したり、実際に実験をして確かめたり、みんなで話し合いをして、考えを深めながら解決したりすることなども、とても大切です。 【知っていることをもとにして、新しいことを「発見する力」を身につける】 与えられたことをただ学ぶのではなく、すでに学んだことをもとにして、どんなことがわかるかな、どうすればいいかな、どうなるかなと考えながら、学習に取り組みましょう。すると、新しい性質や考え方を自ら発見できるようになり、いっそう数学のよさやたのしさを実感することができます。 【学んだことを「利用する力」を身につける】 数学では、学んでいく中でたくさんの知識や考え方を身につけていきます。知識を増やしていくことは、たくさんの道具を持つことと同じです。しかし、道具を使わなければ意味がありません。この身につけた知識や考え方を数学の問題だけではなく、身のまわりの問題にも活用することでより確実なものになっていきます。 【自分の考えを「表現する力」を身につける】 数学に限らず、自分の考えをことばや文字で表現することはとても大切なことです。数学の学習では、自分の考えを伝えようとすることで、筋道立てて考える力が身につきます。 【「記録する力」を身につける】 黒板に書かれたことを写すだけではなく、先生の説明やほかの人の発言で、大切だと思ったこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。そうすることで、学習したことからをより深く理解できるようになります。 家庭学習では たくさんの問題を解くことで数学の力は身につけていきます。宿題が出されたら、その日のうちに取り組みましょう。分からなくなった場合は、教科書からよく似た問題を探したり、解答を参考にしたりするなど、「問題の解き方」を理解しましょう。授業中に間違えた問題も同じように学習することで理解を深めましょう。		
学習上の注意	授業の準備は早めに行い、忘れ物をしないようにしましょう。 ノート・問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。 話し合うときには → 自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えよう。 発表するときには → 自信をもって、大きな声で発表しよう。 発表を聞くとときには → ほかの人の意見と自分の意見をくらべながらしっかり聞こう。 まとめるときには → 自分の考えがよく伝わるようにていねいな文字で、図や表なども利用してわかりやすくまとめよう。 【ノートの工夫】 ○×をつけるだけでなく、なぜ間違えたのかを書こう。 そして、もう一度解いて、同じ間違いをなくそう。 式だけでなく図もかいて考えよう。 色をうまく使ってわかりやすくしておこう。 例えば、分数は2行を使って書くことで見やすく、計算もミスしにくくなります。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	1章 正の数・負の数 ○ 0より小さい数 ○ 正の数・負の数で量を表すこと ○ 絶対値と数の大小 ○ 正の数・負の数の加法, 減法 ○ 正の数・負の数の乗法, 除法 ○ いろいろな計算 ○ 数の世界のひろがり ○ 正の数・負の数の利用 2章 文字の式 ○ 数量を文字で表すこと ○ 文字式の表し方 ○ 式の値 ○ 文字式の加法, 減法 ○ 文字式と数の乗法, 除法 ○ 関係を表す式 ○ 文字式の利用	中 間
	5		
	6		
	7		期 末
二 学 期	9	3章 方程式 ○ 方程式とその解 ○ 方程式の解き方 ○ 比と比例式 ○ 方程式の利用 ○ 比例式の利用 4章 変化と対応 ○ 関数 ○ 比例の式 ○ 座標 ○ 比例のグラフ ○ 反比例の式 ○ 反比例のグラフ ○ 比例, 反比例の利用 5章 平面図形 ○ 直線と図形 ○ 図形の移動 ○ 基本の作図 ○ 図形の移動と基本の作図の利用 ○ 円とおうぎ形の性質 ○ 円とおうぎ形の計量	中 間
	10		
	11		
	12		期 末
三 学 期	1	6章 空間図形 ○ いろいろな立体 ○ 空間内の平面と直線 ○ 立体の構成 ○ 立体の体積 ○ 立体の表面積 ○ 空間図形の利用 7章 データの活用 ○ データを活用して, 問題を解決しよう ○ 整理されたデータから読み取ろう ○ 相対度数と確率	学 年 末
	2		
	3		

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	定期テスト, 小テスト, 授業への取り組み姿勢, など
	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期テスト, 小テスト, 授業への取り組み姿勢, レポート, など
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	定期テスト 授業への取り組み姿勢, レポート, 提出物・宿題への取組, など

第1学年 理科

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス1 (啓林館) 副教材 理科便覧 (浜島書店) よくわかる理科の学習 1 (明治図書)	持ち物	教科書 ファイル 理科資料集 (理科便覧) ワーク (解答とワークノートも) 自主学習ノート 筆記用具
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。 ・疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力をする。 ・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なことにも挑戦する。 ・分かったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。 <家庭学習では> ○授業で習った部分のワークシートを見直し、次に習う新たな用語などを調べる。 ○宿題・提出物をしっかり仕上げる。 <定期テストでは> ○範囲はテスト発表時に通知する。 ○授業中に学習したことや配られたプリント、ワークなどをしっかり復習しておく。 <グループ学習について> ○理科の授業・実験では、4人班でのグループ学習・実験をよく行います。 ○すばやく班の形になり、机はぴったりくっつけましょう。 ○自分で考えても分からないときには「教えて。」と言いましょう。 ○「教えて。」と言われたら「わかる。」ようになるまで教えてあげましょう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席する。 ○授業の準備物を忘れない。 ○板書されたことや気付いたことなどを、ワークシートに工夫してまとめておく。 ○先生の話や友達の話、発表をしっかり聞く。 ○ワークシート・宿題プリント・ワークノートなどの提出は期限を守る。 ○ワークシートのまとめなど、個人学習が早くできて余裕があるときは、資料集・ワーク等を使って、予習・復習などから各自の課題を選択し、自主学習を進める。 ○授業で疑問に思ったことは、事典・インターネットなどを使って、積極的に調べましょう。 ○班活動では、他の班員の個性を尊重し、いろいろな考え方を認めたり、取り入れたりして、自分の識見を広げる努力をしましょう。		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	○自然の中にあふれる生命	中 間 期 末	知 識 ・ 技 能	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原則・法則を正しく理解し、知識を身に付けているか。 ・実験や実験器具の使用目的などを理解しているか。 ・実験器具を正確・安全に使用しているか。 ・実験観察から導き出されたことをレポートにまとめられるか。また、その結果からわかることを他の人にわかりやすく工夫してまとめられるか。	・授業の様子 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・実験レポート ・自由研究 ・ワークシート ・ふり返りシート
	5	○【生命】いろいろな生物とその共通点				
	6	・植物の特徴と分類				
	7	・動物の特徴と分類				
二 学 期		○【物質】身のまわりの物質	中 間 期 末	知 識 ・ 技 能	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原則・法則を正しく理解し、知識を身に付けているか。 ・実験や実験器具の使用目的などを理解しているか。 ・実験器具を正確・安全に使用しているか。 ・実験観察から導き出されたことをレポートにまとめられるか。また、その結果からわかることを他の人にわかりやすく工夫してまとめられるか。	・授業の様子 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・実験レポート ・自由研究 ・ワークシート ・ふり返りシート
	9	・いろいろな気体とその性質				
	10	・水溶液の性質				
	11	・物質のすがたとその変化				
三 学 期		○【エネルギー】光・音・力による現象	中 間 期 末	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	・自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行うことができる。 ・規則性や関係性を見出して表現するなど、科学的に探究している。 ・レポートや発表の時に、図や表を用いて他の人にわかりやすくまとめる工夫がされている。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポート ・自由研究 ・ワークシート ・ふり返りシート
	12	・光による現象				
		・音による現象				
		・力による現象				
三 学 期	1	○【地球】活きている地球	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・自分が持った課題に対してどのように取り組もうとしているか。 ・理科に対する関心・意欲を持って、授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をどれだけ振り返ろうとしているか。	・授業の様子 ・発言、発表 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・ワークシート ・実験レポート ・自由研究 ・ワークノート、プリント、自主学習ノートなどの提出および内容 ・ふり返りシート
	2	・身近な大地				
	3	・ゆれる大地				
		・火をふく大地				
三 学 期		・語る大地	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・自分が持った課題に対してどのように取り組もうとしているか。 ・理科に対する関心・意欲を持って、授業に取り組もうとしているか。 ・学習した内容をどれだけ振り返ろうとしているか。	・授業の様子 ・発言、発表 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・ワークシート ・実験レポート ・自由研究 ・ワークノート、プリント、自主学習ノートなどの提出および内容 ・ふり返りシート

第1学年 音楽

学習教材および学習の進め方

使用教材	○中学生の音楽1（教育芸術社） ○中学生の器楽（教育芸術社） ○マイソング	持ち物	○使用教材と筆記用具 ○ファイル（楽譜やプリント等） ※Chrome が必要な時はその都度連絡します。
学習の進め方	・出欠確認と持ち物のチェックを毎時間行う。 ・【本時のめあて】を確認し、目標をもって授業に取り組む。 ・個人活動、グループ活動、全体練習などは、目的意識をもって積極的に取り組む。 ・自分のイメージや思いを仲間に自信を持って伝えたり、仲間の意見もしっかりと聴いたりして、それぞれの良さや違いを認め合う。また他の意見を聞きながら考えを深める。 ・振り返りシートに【本時のめあて】が達成されたか、また何を学べて、次に頑張りたいことは何か等を記入する		
学習上の注意	・授業前に準備物を確認し、チャイムが鳴る前に所定の座席に座る。 ・私語をせず、指導者の話をしっかりと聞く。 ・一人ひとりが協力して、グループ練習（できる範囲）や表現のための活動を行う。 ・プリントなどの配布物は、ファイルで管理する。 ・プリントの提出内容は、評価に加味する。 ・表現活動は、集中して、積極的に意欲的に取り組む。 ・鑑賞は、聴くという態度に気をつけ、適度な緊張感を保つ。 ・マナーを守って落ち着いて取り組む。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	・オリエンテーション 授業のきまり等 ・発声法、歌唱のポイント	期 末
	5	1. 歌唱「校歌」	
	6	2. 歌唱「We'll find the way」 3. 鑑賞曲「春-第1楽章-」	
	7	4. 創作「動物をイメージして 作曲しよう」	
		5. 合唱コンクールへの取り組み	
二 学 期 々	9	5.合唱コンクールへの取り組み ハーモニー、旋律の重なり 曲想表現の工夫	期 末
	10	指揮と伴奏との合わせ	
	11	6.鑑賞「魔王」	
	12	7.器楽 箏を弾いてみよう	
三 学 期	1	8.鑑賞「六段の調」	学 年 末
	2	9.歌唱「赤とんぼ」	
	3	10.創作「クラスのテーマ曲を作 ろう」	
		11.1年のまとめ	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・創意を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・実技テスト
	・音楽用語や記号、曲に関する理解ができており、曲想と音楽構造などとの関わりや音楽の多様性について理解している。	・筆記テスト
思考 判断 表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	・曲の感想 ・演奏に関する自分の考え ・定期テスト ・活動の様子
	主体的に学習に取り組む態度	・授業態度(主体的・協働的・授業の積極性) ・各種プリントの内容や完成度 ・振り返りシート ・筆記テスト

第1学年 美術

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 『美術1』 副教材 『美術1』資料 美術資料 レタリング字典	光村図書 光村図書 秀学社 秀学社	持ち物	左記以外に 絵の具セット（必要時のみ） 色鉛筆 筆記用具 ファイル スケッチブック（美術室保管）
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> - 授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組もう。 - 自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで取り組もう。 - 作品制作だけでなく、鑑賞の授業や美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるようにしよう。 - ワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかりと考えて取り組んでいこう。 - 教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の意見や感想を述べられるようにしよう。 - 授業開始時には、振り返り用紙に本時の自分のめあてを、授業終了時には授業内容を振り返り、制作上の疑問・反省、次回への取り組み方などを記入しよう。 <定期テストでは> - 事前に発表された課題などを、テストまでによく考えておくこと。 - テスト当日の持ち物を忘れないようにする。			
学習上の注意	- チャイム着席・作業の準備・後片付けがしっかりできるようにする。 - 授業の準備物を忘れない。 - 制作にあたっての説明をよく聞く。 - 私語を慎み、制作に集中する。 - 作品提出は期限を守る。 - 配布された資料などのプリントは、なくさないよう全てファイルにとじるようにする。 - 安全面に気をつけて制作する。 - 各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かす。 - 他の人の作品を鑑賞し、作品の良いところを見つけてこれからの自分の作品に活かせるよう鑑賞する。			

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	オリエンテーション レタリングについて レタリング練習	期 末
	5	デッサンについて デッサン練習	
	6	色の整理について	
	7	絵の具の着色練習 ポスターについて	
二 学 期	9	鑑賞 絵文字制作	期 末
	10		
	11	色彩平面構成・練習	
	12		
三 学 期	1	鑑賞 色彩平面構成・本番	学 年 末
	2		
	3	1年間の美術科の作品鑑賞と ふりかえり	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	形、色彩などの表し方や美術文化を理解しているか。 制作意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現できたか。 材料や用具の特性などから制作の順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 自分の目的を達成し、完成度の高い作品を制作することができたか。	プリント 作品 配色の工夫 着色の工夫 技法や用具の使い方の工夫 テスト
	対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したこと から自分の表現したい主題を 考えることができたか。 また、その主題をもとに構成 を工夫し、心豊かに発想し、 構想を練ることができたか。 美術文化に対する見方や感じ 方を深めることができたか。	プリント アイデアスケッチ 配色計画 テスト 作品 宿題
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動に喜びを感じ、意欲的に制作していたか。 課題と向き合い、深く考えて主体的に学習活動に取り組もうとしていたか。 制作に必要な資料や情報を集めて作品に活かそうとしていたか。 プリントや作品を遅れずに提出できたか。	準備物 授業の様子 宿題 作品 プリント 毎時間ごとの振り返り用紙

第1学年 保健体育

学習教材および学習の進め方

使用教材	・教科書 新中学保健体育（学研） ・副教材 中学体育実技（三栄） ・学習のプリント（新学舎）	持ち物	・ファイル ・筆記用具 ・体育館シューズ
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ・出席順で1番が列の基準になり、体育委員が号令をかけて整列させる。体育係が中心となり、授業の準備をおこなう。 ・まず、授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け、初歩的なルールなど）を覚える。基本的なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに先生や友だちのアドバイスを参考にしながら、自分（たち）の課題（目標）を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫したりしながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。 ・全体の動きに機敏性を持たせる為に集団行動の徹底をはかる。 ・年間を通して準備運動を実施し、さらに補強運動をすることによって運動能力を高める。 ・忘れ物をなくし見学でもジャージに着替える。 ・先生の指示をよく守り安全に留意して運動できる。 <定期テストでは> ・定期テストを実施することにより、保健分野と体育理論の定着をはかる		
学習上の注意	・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組む。 ・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしない。 ・指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片付け、練習など）し、周りの安全を考えて取り組む。 ・効果的で安全な活動をするため、基礎的な事柄（服装や身なりを整え、運動種目の規則を守るなど）に注意して取り組む。 ・体操服：夏服期間は半そで、ハーフパンツを着用する。 見学者にはウインドブレーカーの着用を認める。 *体調不良等、特別な理由がある場合は、マイプラやメモで連絡する。 ・保健体育の教科書・図解体育・ファイルは教室のロッカーにまとめておき、いつでも使えるようにする。		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	集団行動 ラジオ体操 体育祭練習	期 末	知識・技能	【体育分野】 ○知識 ・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。 ○技能 ・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。	実技テスト 定期テスト 学習カード
	5	集団行動 新体力テスト			【保健分野】 ○知識 ・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。	
	6 7	陸上競技（短距離走・リレー） 球技（バレー） 水泳（座学） 保健分野				
二 学 期	9 10	器械運動（マット） 球技（ハンドボール）	期 末	思考・判断・表現	【体育分野】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。	参加状況 授業の取り組み方 学習カード 定期テスト
	11	武道（剣道）			【保健分野】 ・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。	
	12	陸上競技（持久走） 保健分野 体育理論			・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。	
三 学 期	1 2	球技（サッカー、バスケット）	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	【体育分野】 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	参加状況 授業の取り組み方 ラジオ体操 学習カード 提出物 発表
	3	保健分野 体育理論			【保健分野】 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

第1学年 技術・家庭（技術分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書【新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）】 ワークノート【技術・家庭科ノート技術分野（正進社）】	持ち物	・教科書 ・クロムブック ・ワークノート ・学習プリント
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○学習の課題をとらえ、課題の解決に向けて取り組もう。 ・わからないところ、できないところを明らかにし、学習活動や実習に取り組もう。 ○グループ学習では、疑問や意見を出し合い、互いに学び合おう。 ○実習では、安全面を考えながら、グループで協力して作業に取り組もう。 ○学習活動について、自己評価したり、互いに評価し合ったりしよう。 <家庭学習では> ○学校で学習したことや身につけた技術を生活に活かそう。 <定期試験では> ○授業中に学習した内容や実習内容等（教科書、学習プリント等）を復習し、学んだことを定着させよう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着こう。 ○学習する内容は、学習プリントやデータにまとめよう。 ○授業での発問には、積極的に発表しよう。 ○グループ学習では、疑問や意見が出し合えるように協力して進めよう。 ○実習では、安全面に十分に気をつけて、けがのないように取り組もう。また、互いに教え合いながら協力して取り組もう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	情報の技術 1 情報を処理する技術 2 コンピュータが情報を処理する仕組み 3 情報通信ネットワーク 4 情報セキュリティー 5 情報の技術の工夫 6 実習の手順と安全な進め方	期 末
	7		
二 学 期	9	双方向性のコンテンツの技術 コンテンツの設計の仕方 設計に沿った双方向性のコンテンツの制作	期 末
	10	計測・制御 計測・制御のシステムの設計の仕方 設計に沿った計測・制御システムの製作	
	11	生物育成の技術 育てて学ぼう	
	12	1 生物を育てる技術 2 実習の安全な進め方	
三 学 期	1	3 生物を育てる技術の工夫	学 年 末
	2	じっくり学ぼう 1 生物育成の計画 2 計画に沿って栽培	
	3	まとめ 社会の発展と生物育成の技術	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	情報通信ネットワークの構成と情報を利用するための基本的な仕組みについて理解している。	学習プリント
	安全・適切にプログラムの制作、動作確認ができる。 知的財産、UDの観点から製作品を見直すことができる。 教科書をよく読み、生物育成の基礎的な技術の仕組みを理解している。 安全・適切に育成環境の調整や、作物の管理・収穫等ができる。	学習活動 実習 製品 定期テスト
思考・判断・表現	課題を解決するために条件を踏まえて適切なメディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている。	学習プリント
	設計・計画に照らして制作の過程を評価・改善および修正している。 課題を解決するために、条件を踏まえて適切な育成技術を選択して育成計画を具体化してまとめている。 育成計画に照らして育成の過程を評価、改善および修正している。	学習活動 実習 製品 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	自らの問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	学習プリント
	進んで生物育成や情報の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。	学習活動 実習 製品 定期テスト

第1学年 技術・家庭（家庭分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。 ○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。 ○実習においては、安全面・衛生面に気を付けて取り組もう。 <家庭学習では> ○家庭での仕事を手伝おう。 特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。夏休み・冬休みの課題にていねいに取り組もう。 <定期テストでは> ○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。 ○学習内容をよく復習しておこう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。（持ち物は机の上に揃えて出しておく。） ○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。 ○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。 ○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。 ○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	オリエンテーション 1編 未来につながる家庭分野 1章 家庭分野のガイダンス	期 末
	5	2章 私たちの家族と家庭生活 2編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 1 食事の役割 2 私たちの食生活	
	6	3 栄養素の種類と働き 4 中学生に必要な栄養 2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事 1 食品に含まれる栄養素 2 6つの食品群と食品群別摂取量の目安	
	7	3 バランスの良い献立作り ・食育	
	9	1 日に必要な栄養を満たす献立を考えよう 3編 私たちの衣生活 1章 衣服の選択と手入れ 1 衣服の役割 2 私らしさとTPO着方を工夫	
	10	3 日本の衣服の文化 4 衣服の手入れ①衣服の補修 5 衣服の手入れ②衣服の洗濯と保管	
	11	6 衣服計画と必要な衣服の選択	
二 学 期	12	2章 生活を豊かにするために 1 作って楽しい布作品 2編 4章 調理と地域の食文化 5 日本の食文化と和食の調理	期 末
三 学 期	1	1 作って楽しい布作品	学 年 末
	2	1 作って楽しい布作品	
	3	1 作って楽しい布作品	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	- 家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。 - 生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。	- 定期テスト - ワークシートの内容 - 発表、発言 - 実習・課題の取り組み方 - 作品
	- 生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。 - 実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。 - 他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。	- 各活動への取り組み方 - ワークシートの内容 - 実習・課題の取り組み方 - 作品
主体的に学習に取り組む態度	- 地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っていたか。 - 生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。 - 日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 - 将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。	- 授業態度 - 各活動への取り組み方 - ワークシートの内容 - 実習・課題の取り組み方 - 作品・課題の提出や記入状況 - 忘れ物 - 発表、発言

第1学年 英語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：NEW HORIZON（東京書籍） 副教材：JOYFUL WORKBOOK（新学社） Power Up Phonics（浜島書店）	持ち物	・教科書 ・ワークノート ・ファイル(水色) ・JOYFUL WORKBOOK ・Power Up Phonics
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○小学校ではたくさんの英語を聞いたり話したりする練習を中心に学習しました。<u>中学校では、英文を読んだり、書いたりする学習が本格的に始まり、文法（英語を作る時のルール）の学習</u>も始まります。習った表現を使って、自分のことや身の回りのことについて積極的に英語で表現していこう。 ○授業に集中し、説明や話、指示をしっかりと聞き、授業の中で覚えるくらいの高い意識をもって授業に臨もう。そのために恥ずかしがらずに大きな声で音読する、教師の発音の真似をする、声に出して覚えるということを習慣化しよう。 ○授業で理解できたことと理解できなかったことを自分の中で明確にし、理解できなかったことは質問などをしてその日のうちに解消する努力をしよう。 ○英文を何度も書くことで、英文のルールが定着します。「書く」学習は大変ですが、粘り強く取り組みましょう。 <家庭学習では> ○復習として「単語・本文・基本文が読めて、意味が言え、書ける」ように何度も反復練習しよう。 <u>※ 短時間でよいので何度も単語や基本文を見返す習慣をつけよう。</u> ○宿題は必ずその日のうちにしよう。ワークは答え合わせもしよう。 ○単語テスト・小テストに向けての勉強も忘れずにしよう。 <定期テストでは> ○普段から確実に単語・本文・基本文法を復習しよう。 ○テスト前に配付する対策プリントを見て、どのような力が求められているのかを理解して学習に取り組みましょう。		
学習上の注意	○ペア・グループワークなどの活動を頻繁に行います。困った時は互いにサポートしましょう。また、いろんな人とコミュニケーションを取るようにしましょう。 ○教科書・ノート・ファイル等、授業の準備物を忘れないようにしましょう。 ○しっかりと声を出して単語や本文を読む練習をしましょう。 ○ノート・ワーク等の提出期限を守りましょう。 ○ノートに Talk and Talk の英文を何度も書き、英文を正確に書けるようになりましょう。英文を正しく書けるようになると英語の力は大きく伸びます。 ○授業以外の時間でも間違いをおそれず積極的に ALT に話しかけてみましょう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	0 Nice to Meet You 小学校で学習した表現を使って、あいさつしたり、文字の読み方を復習したりする。 1 Hello, Everyone! be 動詞、助動詞などを使って自分のことについて伝え合う。	中 間
	5	2 Our New Teacher 身近な人やものについて紹介したり、たずねたりする。	
	6	3 Our School いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりする。 4 Friends in New Zealand 相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりする。	
	7	Stage Activity 1 自分のことについて、つながりのある英文を書く。	期 末
二 学 期	9	5 My Brother in Hawaii その場にいない人やものなどについて、伝えたりたずねたりする。	中 間
	10	6 A Rakugo Performer from the U.K. その場にいない人について話したり、持ち物について持ち主をたずねる。	
	11	7 An Online Tour of the U.K. 進行形を使って今していることについて説明したり、たずねたりする。	
	12	8 Think Globally, Act Locally したいことや、する必要があることについて説明する。	期 末
	12	Stage Activity 2 あこがれの人や好きな有名人を紹介する。	
三 学 期	1	9 Winter Vacation 過去の出来事について説明したり、伝え合ったりする。	学 年 末
	2	10 This Year's Memories 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことを説明する	
	3	Stage Activity 3 思い出に残った学校行事について発表する	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・文を作るためのルール（文の仕組，文字，符号など）を理解しているか。 ・ルールに従って正しく英文（基本本文含む）を言ったり，書いたりすることができるか。 ・学習した英文を聞いたり読んだりして，その意味を正確に理解することができるか。 ・英語のイントネーションや区切りなどを用いて音読したり話したりすることができるか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	・場面や目的に応じて，学習した基本的な表現を用いて話したり書いたりすることができるか。 ・学習している題材（話題）に関して自分の意見や考えなどを話したり書いたりすることができるか。 ・身近な話題に関するまとまりのある英文を聞いたり読んだりして，概要（大まかな内容）や必要な情報・ポイントなどを理解することができるか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・宿題・課題の取組状況や提出物 ・小テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・勉強方法を工夫しながら，積極的に学習しようとしているか。 ・英語のコミュニケーション活動に積極的，協力的また興味を持って取り組んでいるか。 ・学んだ英語を進んで使ったり，意欲的に発言や質問をしたりしているか。 ・分からない所があっても粘り強く英語を聞いたり，話したり，書いたり，読んだりしようとしているか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・宿題・課題の取組状況や提出物 ・振り返りシート ・小テスト ・定期テスト

第1学年 道徳

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「あすを生きる1」（日本文教出版）	持ち物	・教科書 ノート 筆記用具
学習の進め方	＜確かな道徳的価値を身につけるには＞ ・学級や学校の一員としての自覚をもち、現在ある課題や将来出会うであろうさまざまな場面について、主体的に考えましょう。 ・教科書と付属のノートのほか、プリント等を使います。		
学習上の注意	・自分のこととして考えることが大切です。「自分ならどう考えるか、どう行動するか」を常に自分に問うようにしましょう。 ・友達の見解を聞きましょう。話し合いを通して、人として他者とともによりよく生きる方法をとものに考えましょう。 ・さまざまな場面で主体的に判断ができるように、道徳的な価値観を身につけましょう。		

学習内容および評価について

学習計画		
	月	単 元 計 画
一 学 期	4	「サッカーの漫画を描きたい」 「人のフリみて」 「“村人 B” には…」
	5	『愛情貯金』をはじめませんか」 「さかなのなみだ」 「葉っぱの切り絵で見た道」
	6	「ばあば」 「木の声を聴く」 「疾走、自転車ライダー」
	7	「門掃き」 「使っても大丈夫？」
二 学 期	9	「ソウタとミオ」 「私らしさって？」 「震災を乗り越えて-復活した郷土芸能-」 「どうして？」
	10	「さよなら、ホストファミリー」 「違いを乗り越えて」 「バスト赤ちゃん」 「三人の乗客」
	11	「あらゆるものに神は宿っている」 「あったほうがいい？」 「ふれあい直売所」 「あふれる愛」
	12	「iPS 細胞で難病を治したい」 「この声は」
三 学 期	1	「ゆうへー生きていてくれてありがとうー」 「旗」 「裏庭での出来事」
	2	「おじいさんの 100 ドル」・ 「オーロラ・光のカーテン」 「オアシスの老人」 「私は清掃のプロになる」
	3	「「肝心」 のバスガイド」 「いつわりのバイオリン」

評価は各学期、文章評価で行います。